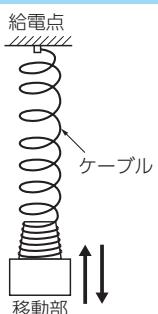
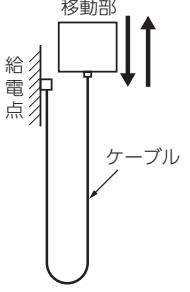


# ケーブル選定表

使用方式	ケーブルが受ける力	F-2PNCT → P19	F-2PNCT 補強形 F-3PNCT → P22,25	F-2PNCT 充実形 F-2PNCT 補強形 → P27	鋼線入 F-2PNCT 補強形 → P29	鋼線入充実形 F-2PNCT 補強形 → P31	耐屈曲 F-2PNCT → P33	耐捻回 F-2PNCT → P34
			→ P19	→ P22,25	→ P27	→ P29	→ P31	→ P34
カーテン方式	屈曲 捻回 張力 しごき	◎	◎	○	—	—	◎ *1	—
コイルカーテン方式	屈曲 捻回 張力 しごき	—	◎	○	—	—	—	—
水平リール方式	屈曲 捻回 張力 しごき	○	—	○	○	◎ *2	○	—
垂直リール方式	屈曲 捻回 張力 しごき	○	—	—	○	—	◎ *2	—
ベー方式／キャリア方式	屈曲 捻回 張力 しごき	○	◎ *3	○	—	—	—	—
旋回方式	屈曲 捻回 張力 しごき	—	◎	○	—	—	—	◎ *4

使用方式	ケーブルが受ける力		F-2PNCT → P19	F-2PNCT 補強形 F-3PNCT → P22,25	充実形 F-2PNCT 補強形 → P27	鋼線入 F-2PNCT 補強形 → P29	鋼線入充実形 F-2PNCT 補強形 → P31	耐屈曲 F-2PNCT → P33	耐捻回 F-2PNCT → P34
バケット方式 	屈曲	○	◎	—	—	—	—	—	◎ *5
	捻回	◎							
	張力	○							
	しごき	—							
U字型エレベーター方式 	屈曲	○	○	◎	—	◎	—	—	—
	捻回	—							
	張力	○							
	しごき	○							

\*1: 5.5mm<sup>2</sup>以下で、移動速度が100m/分以上の場合

◎: 推奨 ○: 可(要相談) —: 不適

\*2: ケーブルに掛かる張力が、導体断面積×心数×19.6N/mm<sup>2</sup>以上の場合

\*3: シースの摩耗が軽微な場合

\*4: 5.5mm<sup>2</sup>以下で、捻回量が±45°/m以上の場合

\*5: 5.5mm<sup>2</sup>以下で、特に捻回を過酷に受ける場合

## ■ 特殊仕様ケーブル

仕様	品名(例)	主な用途	特長
遮へい付	2PNCT-SB	ノイズ対策が必要な場合	撲合せ上又は絶縁体上に遮へい編組を施す
エコタイプ	EM-2PPCT	官公庁向けなど、環境配慮型のケーブルが必要な場合	ノンハロゲン、低発煙 傾斜燃焼試験(JIS C 3005)に合格する
高難燃	SF-2PNCT	火力発電所、原子力発電所など、延焼防止措置が必要な場合	垂直トレイ燃焼試験 (IEEE383-1974)に合格する

※各種ケーブルは2種補強形、3種、Fタイプが可能ですのでご相談ください。